

学校だより 3つの「あ」×3つの「ことば」

けいせい

帯広市立啓西小学校

どんどん(活動する子)

わくわく(感動する子)

いきいき(表現する子)



令和6年11月29日発行

一人一人が、学級で、そして全校でいじめについて考えた！！

今年度、帯広市では、「仲良く楽しく過ごすために児童会として何ができるか」を各校で考える取組を進めてきました。本校が属する西陵中エリア3校(西陵中・広陽小・啓西小)では、9月18日(金)、児童会・生徒会役員が集まり、いじめ防止に向けての共通した取組について話し合いをもちました。

そこで、今年度は、『いじめ対策として、いじめ防止標語やスローガンを作成する(意識を高める)』に取り組むこととしました。以下、本校の取組を写真で綴りながらお伝えします。

11.11 全校集会



校歌を元気よく声高らかに歌う1年生と2年生



児童会役員がスムーズに進行しました

今回の全校集会は、『いじめはいけな
いこと。一人一人の嫌な思いを減らすこ
とができれば』との思いで進めました。
一人一人のいじめに対する思いや考え
を学級で練り上げて、この全校集会で
発信しました。各クラスの代表が実に
堂々と勇気を持ってクラスの思いを表現
していました。この取組を通して、啓西っ
子一人一人が『いじめ』を自分事として
捉え、傍観者になることなく向き合うこ
とを願っています。

6の1



6の2



5の1



5の2



3の2



3の1



4の2



4の1



2の1



2の2



1の1



1の2



今回の全校集会は、6年1組⇒6年2組⇒5年1組⇒…1年1組⇒1年2組とリレー形式で『いじめに対する思い』をつないでいきました(写真上)。全校集会で使用したパネルなどは、教室前や階段踊り場に掲示しています。毎日毎日、目にすることで、今なお、子どもたち一人一人の思いが伝わってきます。ご来校の際に、ぜひ、ご覧ください。

子どもたちが、自分たちで、よりよい学校生活を創造しています

ポップ作り選手権

力作揃い！！ 読みたい本がたくさんに ～図書委員会～



たくさんの応募ありがとうございました。色使いが工夫されていたり、パッと目を引くイラストが描かれていたり、本の内容が分かりやすく書かれていたり、それぞれのポップに工夫があって、賞を決めることが大変でした。賞に入った人はおめでとうございます！

本とポップを一緒に飾ります。ぜひ皆さんもポップを見に図書館に来てくださいね！
～ 図書委員会より～

やったね！啓西っ子！

これからも啓西っ子の活躍を期待しています(^.^)



十勝リーグフットサル2024
U-10 優勝
啓西バモラ Jr. FC

子どもの詩 サイロ入選

〇年〇組 ○〇〇〇さん

○〇〇〇さん

〇年〇組 ○〇〇〇さん

○〇〇〇さん

2024 年度 フレンドリーカップ

優勝 緑丘サッカー少年団

2024 冬のサッカーフェスティバル

4年生クラス午前の部

優勝 啓西バモラ Jr. FC



※学校だよりを本校のホームページに掲載する際は、個人情報保護のため名前等は削除しています。

学校の働き方改革を考える ～ 学級通信の発行を通して ～

数年前から日本社会の長時間労働が問題視され、平成 30 年には『働き方改革法案』が成立し、どの職場においても働き方改革関連法に基づく取組の推進が求められています。教育現場においても労働環境の悪化が常態化していることを懸念する報道があり、実際に毎日のように夜 8 時や 9 時ぐらまで学校に残って仕事をせざるを得ないという状況が見られました。このような状況は、心身に疲労が蓄積し、気持ちに余裕がなくなって、子どもの見方が狭くなったり、一方的な指導になってしまったりと子どもたちのためによくはない状況を生み出すことにもつながっていきます。

こうした中、本校では平成 28 年度に『学校力向上に関する総合実践事業』の中核校の指定を受け(現在は、広陽小学校が中核校、本校と西陵中学校が指定校となっています)、組織力と教育力を向上するために、スクラップ&ビルドを踏まえた学校行事の精選、ICTの利活用による業務の効率化、さらには、職員が自分事として勤務時間を意識して働くことができる環境を整えることなどを主眼に進めてきました。現在、働き方改革で求められていることの一つに、在校等時間(勤務時間:8:00～16:30以外で学校にいる時間)を月に 45 時間以内にすることがあります。

働き方改革の本来の目的は、教職員が早く退勤することのみではありません。働き方を見直すことで、子どもと向き合う時間を確保すること、ワークライフバランスを担保しながら、教職員の資質能力の向上を図ることなどにあります。今後も継続して取り組んでいかなければならない大きな課題と捉えています。

ここでは、上記を踏まえた『学年だよりと学級通信の発行について』お伝えします。本校では、学年だよりは、時間割と合わせて連絡事項などを掲載しています。どの学年も週 1 回の発行としていて、ホームページにも掲載しています。

また、学級通信に関しては、学校で何号発行するといったきまりはありません。各学級担任が伝えたいことを適宜タイムリーに発行しています。学級通信は、家庭と学校(学級)をつなぐ大切なツールであることを前提にしていますが、その発行は、学年内で打ち合わせたり、内容や発行日などを調整したりするなどの工夫を重ねています。

今、求められている『働き方改革』とのバランスを図りながら、まずは、子どもと向き合う時間を最大限に確保することを踏まえて、今後も学級通信を発行してまいります。どうぞご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。